

プレ説明会用
(変更可能性あり)

「東京で一番楽しい子ども時代を過ごそう！」

HILLOCK 初等部について

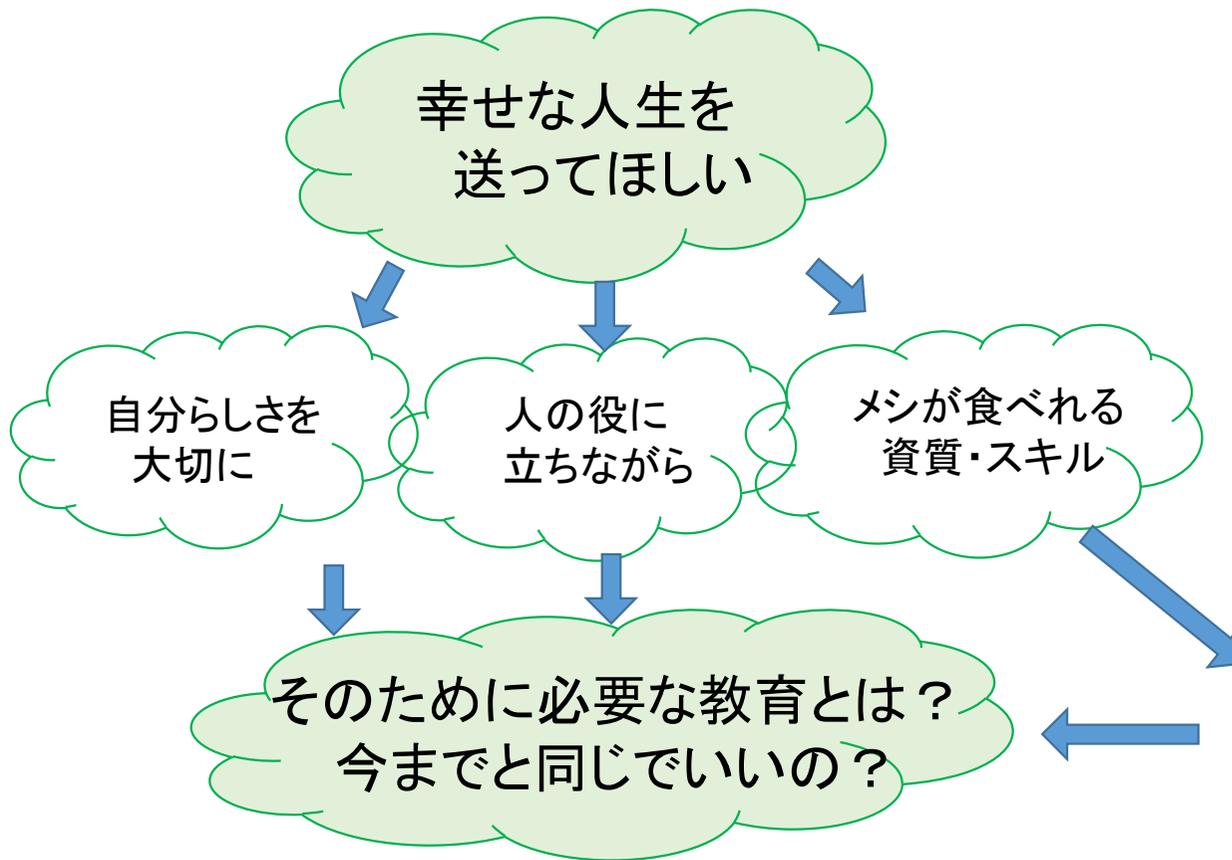
2022年4月開校に向けて

NPOソダチバプロジェクト
代表理事 堺谷武志



保護者の想いと環境

保護者の想い(突き詰めると...)



外部環境: 不確実な時代



テクノロジー・人工知能(AI)



グローバル化



少子高齢化

例 企業の寿命が短くなる
知識・スキルがすぐ陳腐化
インドやアフリカが台頭

必要な資質やスキル例(これすら変わる)

- ・転職や起業ができる勇気・スキル
- ・変化に臆しない/常に学び続ける意欲
- ・多様性(世界)とつきあうしなやかさ

未来の学び(1)アジアの学校



- 経済産業省の研究会(「未来の教室」とEdTech)より
 - 中国: イノベーション人材育成、STEM教育に投資(4兆円)
 - シンガポール: トップダウンでAI人材育成、上位10%は高校受験廃止(イスラエル: 企業を巻き込みテクノロジー、PBLを推進)

THEアジア世界大学ランキング2018

総合ランキング

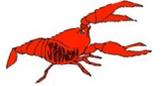
2018順位	2017順位	2016順位	大学名	国
1	1	1	シンガポール国立大学	シンガポール
2	3	5	清華大学	中国
3	2	=2	北京大学	中国
4	5	4	香港大学	香港
=5	6	6	香港科技大学	香港
=5	4	=2	南洋理工大学	シンガポール
7	11	13	香港中文大学	香港
8	7	7	東京大学	日本
9	9	9	ソウル大学校	韓国
10	8	10	韓国科学技術院 (KAIST)	韓国

※Times Higher Education「Asia University Rankings 2018」を参考に作成

- アジアのトップ国の動きは速い
- 海外の大学院誘致も進む
- エリート育成を国策として徹底して投資・推進

トップダウン→エリート

未来の学び(2)アメリカの学校



- **新たな潮流の発信地** (参考:「学習する学校」「ブレンディッドラーニング」)
 - 特色ある取組み: 富裕層向け情緒教育(年間授業料400万円)、テクノロジー特化型
- **公教育は民営化等で劣化するところも** (参考:「崩壊するアメリカの公教育」「アメリカの教室」)

「THE世界大学ランキング 2019」 トップ10の大学

2019の 順位	2018の 順位	大学名	国
1	1	オックスフォード大学	イギリス
2	2	ケンブリッジ大学	イギリス
3	3	スタンフォード大学	アメリカ
4	5	マサチューセッツ工科大学	アメリカ
5	3	カリフォルニア工科大学	アメリカ
6	6	ハーバード大学	アメリカ
7	7	プリンストン大学	アメリカ
8	12	イェール大学	アメリカ
9	8	インペリアル・カレッジ・ロンドン	イギリス
10	9	シカゴ大学	アメリカ

Times Higher Education (THE)

- 先進的取組みは参考になる(オンライン活用等)
- 初等公教育は玉石混交
- 高等教育は圧勝(世界中からトップ層を集める。日本人留学生減少)

先進→起業家・稼ぐ

未来の学び(3)ヨーロッパの学校



- 国によって大きく異なる／階級制度の名残も(複線式)
- 市民が参加し、新しく学校を創る場合もある(補助金も出る)

- フィンランド
 - 幼児期を少人数でとても丁寧に、遊び中心で過ごす(→自己肯定感)
 - 平等性を意識した初等教育
- デンマーク
 - Teach→Facilitateへの移行
 - 個を認める意識が高い
- オランダ
 - 一定数の保護者の要請で学校を創ることができる。
初等教育でも選択肢が多い
- イギリス
 - 言葉を大切にする教育(語彙学習)

これステキ!

- 国によって大きく異なる。
- 先進性より、情緒重視の取り組みが多い印象
- 少人数で丁寧な教育／個人が市民として自立する教育、を目指しているか
- 高等教育はイギリスが優位

学習者主体⇒自立

日本の学校の状況



この多様化の時代に「選択肢がない」ことが問題

費用が高い
200万円～
400万円/年

外人にしたい
わけではない

International
School



中庸は
ないのか？

公教育
(特に、小学校は
私立が少ない)



タダほど
高いものは
ない？

今の教育で
大丈夫？

習い事の
月謝が別途

第三の選択肢
を創る
⇒ヒロック初等部

ヒロック初等部 (全日制スクール～認可外)



特徴



ワイルド

(自然にふれながら、たくましくしなやかに)



アカデミック

(探究&教科、日本語軸バイリンガル ETC.)



東京がキャンパス

(フットワーク軽く、社会とつながる)



HILLOCK 初等部の概要



開校(計): 2022年4月 砧公園の隣(世田谷区上用賀5-23-2)



ヒロック初等部 (元教員シェルパ* + 教育起業家)

Learning Sherpa①

スクールディレクタ (校長)



- 元公立小の教員
(主著: 自由進度学習のはじめかた)
- 寄り添う学び、ICT、特別支援などが得意

蓑手章吾
ミノさん



Management Team

多様な教育起業家チームがサポート

堺谷武志 (ファウンダー)	・キッズアイランド/ ソダチバ・プロジェ クト代表	中村一彰 ・ヴィリング (STEMON) 代表
野村竜一 ・Manai代表 ・ロジム代表	長井悠 ・タクトピア 代表	村田学 ・国際教育評論 家

Learning Sherpa②

カリキュラムディレクタ



- 元私立小の教員
(日本語バカロレアの立上げ)
- 探究学習、ICTが得意
"やさしさ"担当

五木田洋平
ヨヘイさん

*Learning Sherpa (ラーニング・シェルパ)

先生と呼ばず、「学びのプロガイド」の位置づけ

ヒロック初等部 (3つのC)



Confidence



"自信": 人と比べることなく自分らしく

Collaboration

"協働": チームワーク、ユーモア精神

Creativity

"創造・表現": 一歩踏み出す勇気!



大切に
したい
3つの
"C"

世界が注目する“非認知的資質・スキル”を伸ばす！

ヒロック初等部 (カリキュラム)



「教科 & 探究」のサイクルを回す

- ・教科: 先人の知恵を体系立てた学び
- ・探究: 本能が起点の意欲的な学び

“東京がキャンパス”

- ・自由: 砧公園で遊びぬく
- ・社会とつながる



シェルパの“どうしても・クラス”

日本の現教育では取組みが
なされていない先進の学び



日本語軸バイリンガル (英語2割)

[HILLOCK低学年時間割 (案)] 時間配分の考え方：基礎学習50% (半分は自由進度学習)、応用学習50% (「創ることで学ぶ」探究系、英語、自由等)

	月	火	水	木	金	
8:30	サークルタイム (ICT)	サークルタイム (S&T)	サークルタイム (ICT)	サークルタイム (S&T)	サークルタイム (ICT)	
9:00	算数 20m	算数 20m	算数 20m	算数 20m	自由 (含む学外学習)	
	国語 (読み) 20m	国語 (漢字) 20m	国語 (読み) 20m	国語 (漢字) 20m		
	English (L, R) 20m	English (L, R) 20m	English (L, R) 20m	English (L, R) 20m		
10:00	英語 (Literacy)	STEM(算数)	英語STEAM	国語・SEL		
	自由	自由	自由	自由		
11:00	理科・社会	体育	社会	STEM(算数)		
	自由	自由	自由	自由		
12:00	ランチタイム	ランチタイム	ランチタイム	ランチタイム		ランチタイム
	掃除	掃除	掃除	掃除		掃除
13:00	ICT	アート	シェルバの「どうしても」クラス	表現 (音楽・ダンス)		マイプロジェクト
	自由	テーマ学習	自由	テーマ学習	自由	
14:00	マイプロジェクト	テーマ学習	ホームルーム SEL (社会感情)	テーマ学習	マイプロジェクト	
	自由	自由	自由	自由	自由	
15:00	振返り	振返り	振返り	振返り	振返り	

40分×30コマ ⇒ 基礎11、特色11、自由8

科目	毎日	月	火	水	木	金
国語	2	5	7			
算数	2	2.5	4.5			
理科	1	0	1			
社会	1	0	1			
体育	1	0	1			
アート	1	0	1			
表現	1	0	1			
英語	2	2.5	4.5			
ICT	1	0	1			
テーマ	4	0	4			
マイプロ	2	0	2			
学外	4	0	4	11		
自由	8	0	8			

シェルバ「どうしても」例

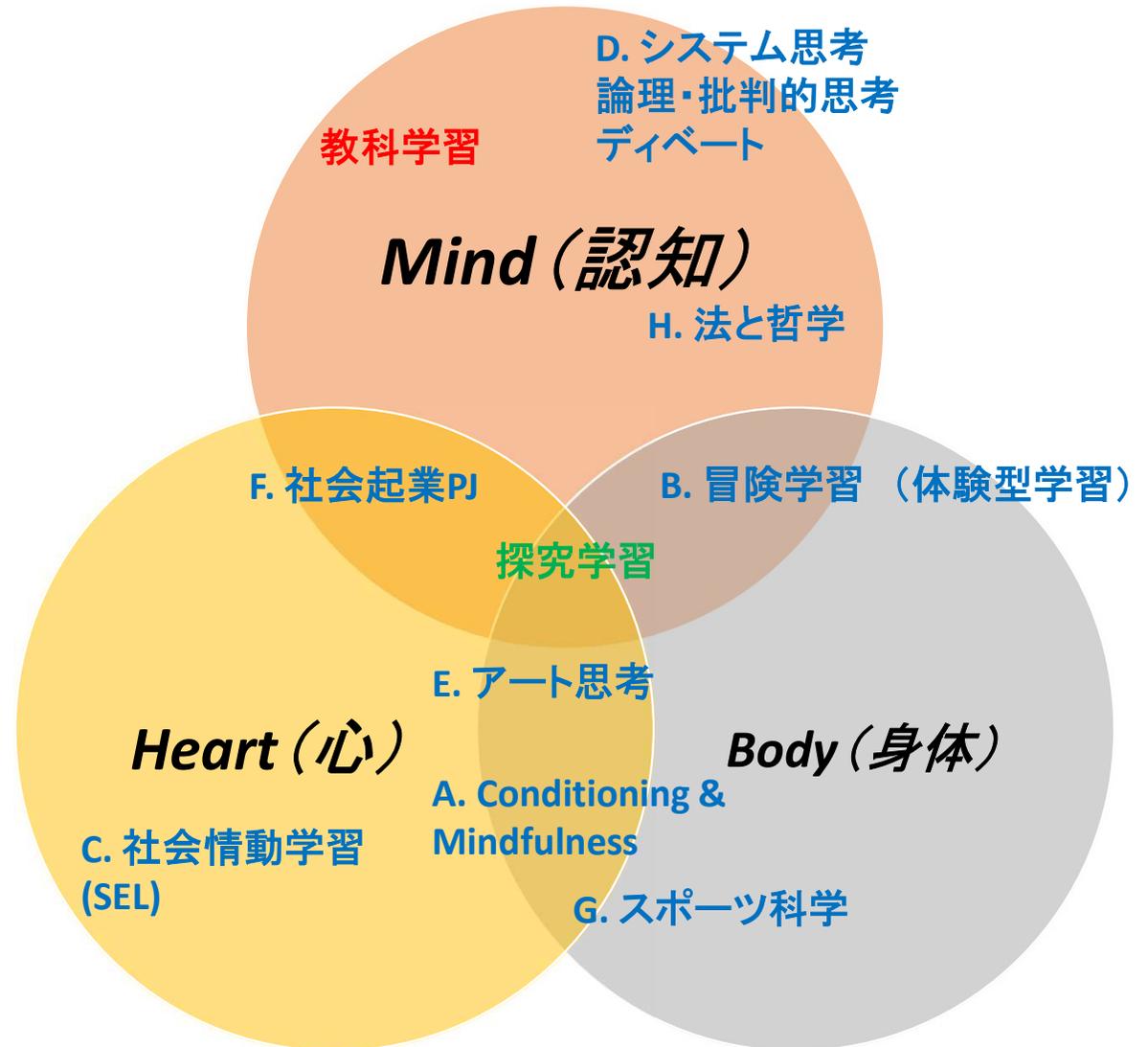
・子ども哲学、システム思考、社会起業家、etc

・Eigoシェルバ：週2～3回×半日で授業 & 自由

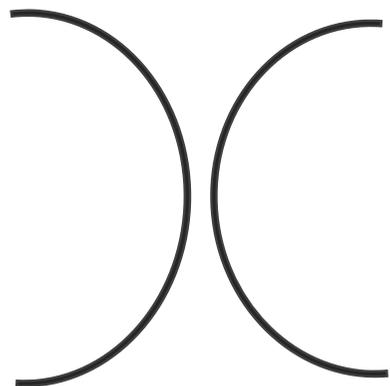
シェルパの 「どうしてもクラス」

・どうしてもクラスとは？：
日本の教育現場での取り組みは十分と言えない先進の学びのうち、シェルパから見て「どうしても体験してほしい学び」を厳選して、取り組み（定期または単発）

・発達心理学における「頭、体、心」への総合的な働きかけで、バランス良い成長をサポートする



日本語軸バイリンガル(日本語:英語=8:2)

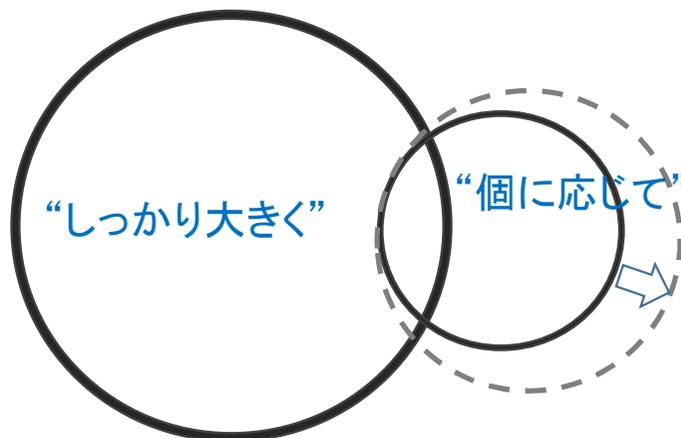


セミバイリンガル

・両方の言語が中途半端

日本語軸バイリンガル

・日本語教養ベース／英語話者

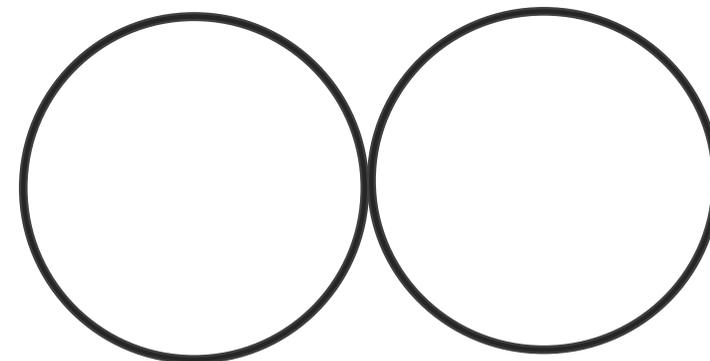


バイリンガルの基礎づくり期間

【聴く】子ども時代に“耳”を徹底

【語彙】日3~5万:英1万語

【話す】堂々と論理的に



Equilingual

・両方の言語がネイティブ
(母語の違う父母／円の大きさは人による)

HILLOCK 初等部の概要



- 定員： 40名～初年度は低学年で12名程度
- クラス： 月～金／8:30～15:00(仮)
- 運営： NPO法人ソダチバ・プロジェクト 私塾(地元公立に籍は置く)
- 教員： 元小学校教諭2名で開始
- 場所： 砧公園隣接(キッズの目黒校-駒沢校-砧公園は通学バス)
- 費用： 未定(年間学費100万円程度を想定)

